

編作オペラ Editorial opera  
Shinpei Nakayama Story

# 中山晋平物語

## カチューシャの唄

Katyusha's song



岩河智子先生

中山晋平のデビュー作  
「カチューシャの唄」が生まれるまでを  
絵物語でご紹介します。



以前から好きだった音楽への  
情熱を強くしていきます。

晋平は子どもたちと  
ふれあう内に、



先生になりました。

16歳で小学校の

家族を支えるため、

早くに亡くした晋平は、

お父さんを



中野市新野に生まれました。

今から100年以上前に

中山晋平は

1



劇作家の島村抱月先生の家で  
書生 ※となり、働きながら  
音楽学校で勉強します。



晋平は音楽家になる夢を  
諦めきれず、18歳で東京へ。

2

※書生… 他(ほか)の人の家で暮らし、家事(かじ)などを手伝い(てつだ)ながら勉強(べんきょう)する人(ひと)

かわいそうな少女カチューシャと  
若い貴族の恋の物語が描かれます。

間違つて牢屋に  
入れられてしまった、



『復活』はトルストイの  
小説をもとにした劇です。

よし、この劇には新しい  
歌を入れてみよう！

いよいよ『復活』の  
公演が決まったぞ。

3

すてきな詩だなあ。

カチューシャ  
かわいいや  
わかれのつらさ  
せめて淡雪  
とけぬ間と  
神に願いを  
かけましょか

歌詞はこれだ。

晋平君、  
これまでに  
なかった  
新しい歌を  
つくってほしい。

4

ああ、  
僕に  
できるだろうか。



日本と  
外国の歌の  
両方を  
合わせたような  
メロディ…。

でも、  
先生の注文は  
なんて  
むずかしいんだろう…。

5